

サムシングホールディングス株式会社

2012年12月期 第2四半期決算説明会

(個人投資家向け)



平成24年9月

免責事項

本資料に記載されている計画、見通し、戦略は、作成時点において入手可能な情報に基づく将来に関する見通しであり、さまざまなリスクおよび不確実性が内在しています。実際の業績は経営環境の変動などにより、これら見通しと大きく異なる可能性があります。従いまして、将来の事業戦略・業績見通しに関する情報に全面的に依拠して、投資判断を決定することは避けるようお願いします。

また、本資料に記載されている当社および当社グループ以外の企業などにかかわる情報は、公開情報などから引用したものであり、情報の正確性などについて保証するものではありません。

目次

I. 会社概要

II. 市場環境

III. 東日本大震災による住宅業界の変遷と当社グループの対応

IV. 2012年12月期 第2四半期決算

V. 中期経営計画

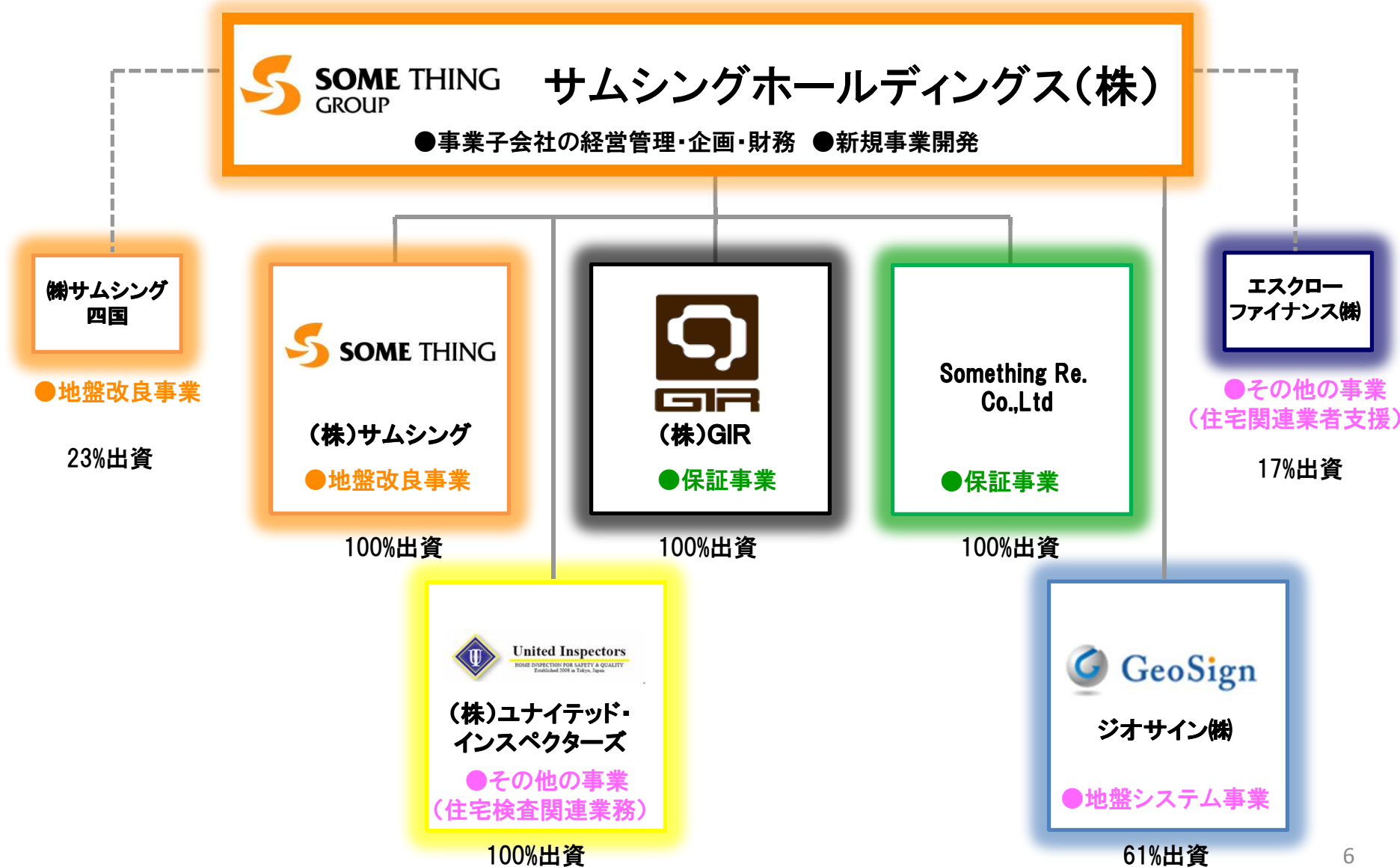


I . 会社概要

会社概要

【会社名】	サムシングホールディングス株式会社 (英文:Something Holdings Co., Ltd.)
【事業内容】	・地盤改良事業 ・保証事業 ・地盤システム事業 ・その他の事業(住宅検査関連業務)
【設立】	平成12年10月 (株式移転前の前身 株式会社サムシングは平成9年6月設立)
【資本金】	333,940千円(平成24年6月30日現在)
【発行済株式総数】	16,048株(平成24年6月30日現在) (平成23年7月1日付けで普通株式1株を2株に分割しております。)
【代表者】	代表取締役社長 前 俊守
【決算期】	12月31日(平成22年12月期より決算期を8月31日から12月31日へ変更しております。)
【本店所在地】	東京都中央区新川一丁目17番24号
【従業員数】	単体 12名(平成24年6月30日現在) 連結 303名(平成24年6月30日現在)

グループ概要



事業内容

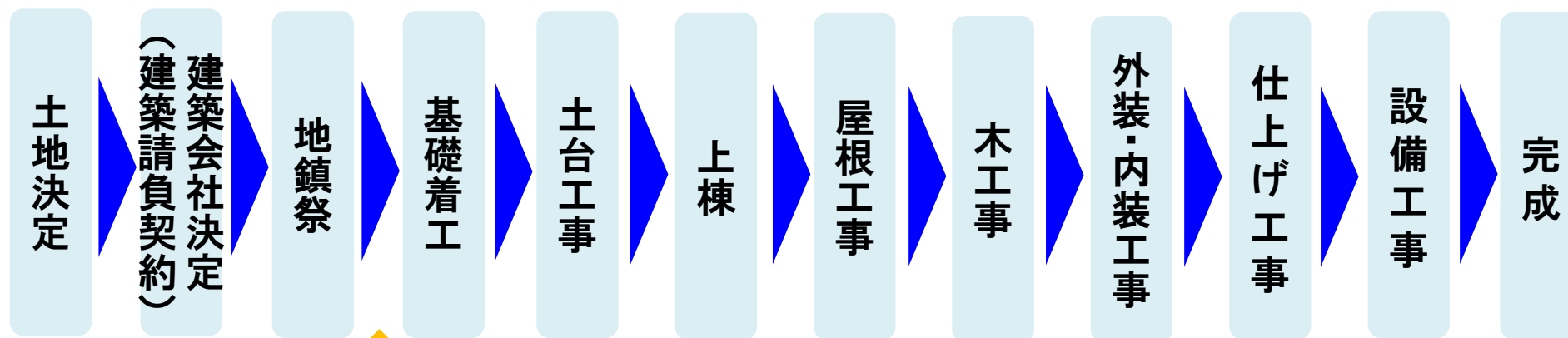
セグメント	主な事業の内容	主な会社名
地盤改良事業	住宅地盤調査 住宅地盤改良工事 沈下修正工事 擁壁工事 測量 地盤関連業者に対する 業務支援	(株)サムシング (株)GIR
保証事業	住宅地盤保証 住宅完成支援サービス	(株)GIR Something Re. Co.,Ltd
地盤システム事業 (※)	各種システムのレンタル・販売	ジオサイン(株)
	電子認証サービス	ジオサイン(株)
その他の事業	住宅検査関連業務	(株)ユナイテッド・ インスペクターズ

(※)地盤システム事業は当第2四半期連結会計期間から、報告セグメントを従来の「地盤改良事業」及び「保証事業」の2区分から、「その他」に含まれていた「地盤システム事業」について量的な重要性が増したため、「地盤改良事業」、「保証事業」及び「地盤システム事業」の3区分に変更しております。

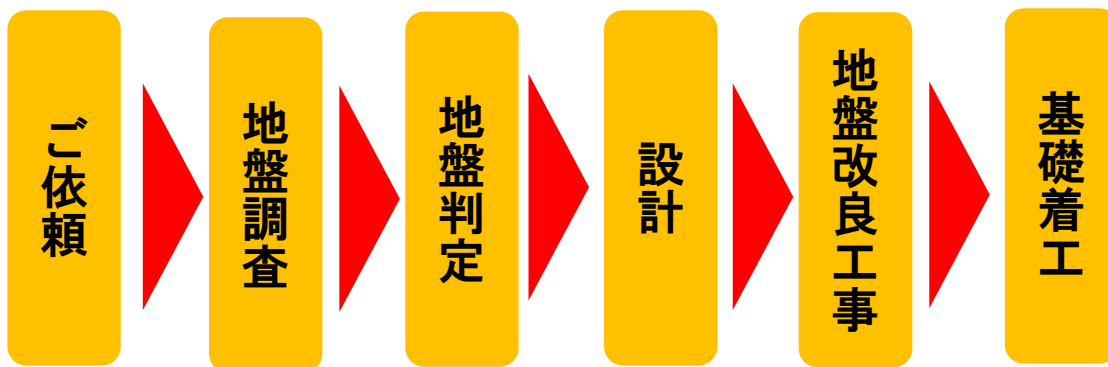
サムシンググループは、地盤改良事業を中心とした
『住宅価値創造事業グループ』
を目指します

サムシンググループは、住宅業界における付加価値サービスを創造し、グループのシナジーを原動力に企業成長を加速させます。

住宅完成までの流れ



地盤改良事業・地盤システム事業



保証事業・その他事業 (住宅検査業務)

住宅地盤総合保証

(※基礎着工より、引き渡しから10年間)

地盤完成保証

住宅検査



建設に必要な地盤の強度を測定



- 支持力
- 沈下量
- 耐震性
- 汚染度

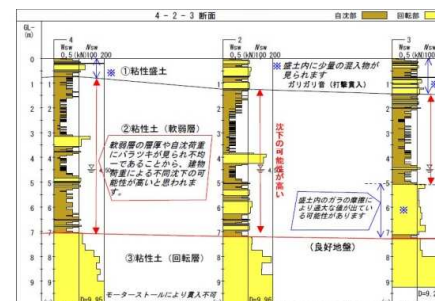


スウェーデン式サウンディング試験(SS)

フルオート式調査機の使用で正確な地盤調査結果取得



フルオート式調査機



調査データ



当社独自工法etc

HITSコラム工法

(財)日本建築総合試験所より、建築技術性能証明(GBRC性能証明 第08-03号)を取得した、経済的で高品質な柱状改良工法です。

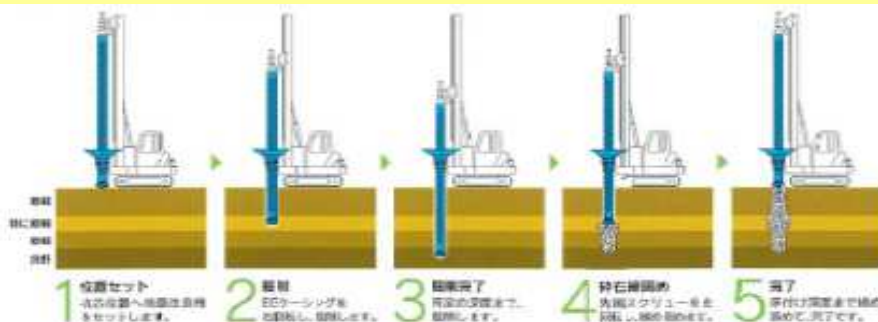
DM(ダブルメタル)工法

スウェーデン式サウンディング試験にて先端の換算N値5から設計可能で、施工性に優れており、工期が短く、ローコストが特徴です。

(財)日本建築総合試験所建築技術性能証明(GBRC性能証明 第10-01号)を取得した工法です。

エコジオ工法

(財)日本建築総合試験所より、建築技術性能証明(GBRC性能証明 第10-01号)を取得した工法です。



～第三者機関から評価された技術～

NSVコラム工法

(財)日本建築センターより建設技術審査証明(BCJ-審査証明-149)を取得した独自工法です。(特許4072968号)

PROP TYPE-S

PROP TYPE-Sは、セメント系固化材スラリーを吐出しながら地盤を掘削攪拌することで、地盤内に直径1,000mmの柱状改良体を築造する、機械攪拌式深層混合処理工法です。

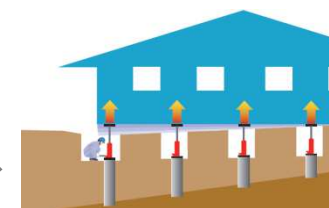
また、財団法人先端建築技術センターの技術審査証明(技審証第2201号)を取得しております。



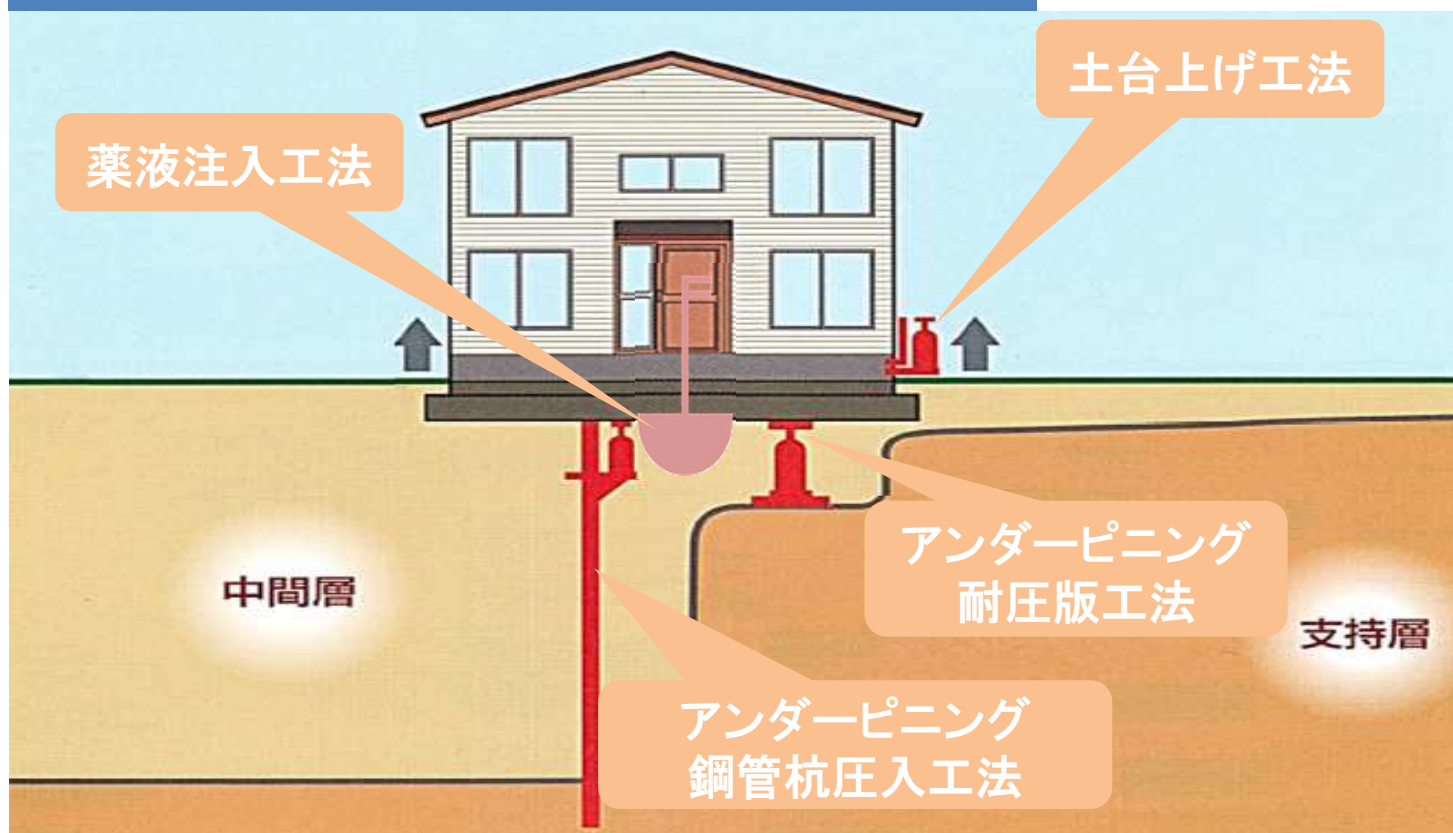


液状化等による建物の傾きを正常な状態に戻します。

家の傾き119番
建物の沈下修正サービス



地盤の状態や沈下量、施工条件によって判断





業界初

「THE LAND」(ザ・ランド)

当社子会社の(株)GIRが提供

大手損害保険会社が引受保険会社となる10年継続PL保険付地盤審査で住宅瑕疵担保責任保険に伴う内容(把握困難な地質状況に起因する不同沈下は住宅瑕疵担保責任保険ではカバーされない)に対応したものの。

「THE LAND」の特長

地盤保証実績

10年間
4万棟以上

1 国内損害保険会社が引受、
一物件毎に付保証明書を発行

3 一事故5000万円まで保証
てん補率は100%

5 保証期間は「基礎着工日」から
基礎着工日から引渡日より10年間

2 ビルダーも被保険者として適応

4 地盤の修復費用も保証対象



当社子会社のユナイテッド・インスペクターズ(株)が提供

住宅検査関連業務



United Inspectors

HOME INSPECTION FOR SAFETY & QUALITY
Established 2008 in Tokyo, Japan

▶ 新築住宅の検査

新築住宅用の検査です。住宅は建築過程のチェックが非常に重要であり、住宅の品質を左右します。検査は原則としてお施主様と共に行います。検査回数によりスタンダード、エクストラ、プレミアムの3コースからなります。

住宅瑕疵担保責任保険対応商品

▶ 既存(中古)住宅の検査

既存(中古)住宅用の検査です。既存住宅の購入を検討しているがチェックポイントがわからないなどお客様のニーズに基づき検査を実施いたします。

住宅瑕疵担保責任保険対応商品

▶ メンテナンス検査

住宅を維持・管理し資産としての価値を持続させる為の検査です。住宅を長持ちさせる為には定期的な検査それに基づく適切なメンテナンスは非常に重要です。検査結果に基づき建築士がアドバイスを致します。

▶ ホームサポートクラブ

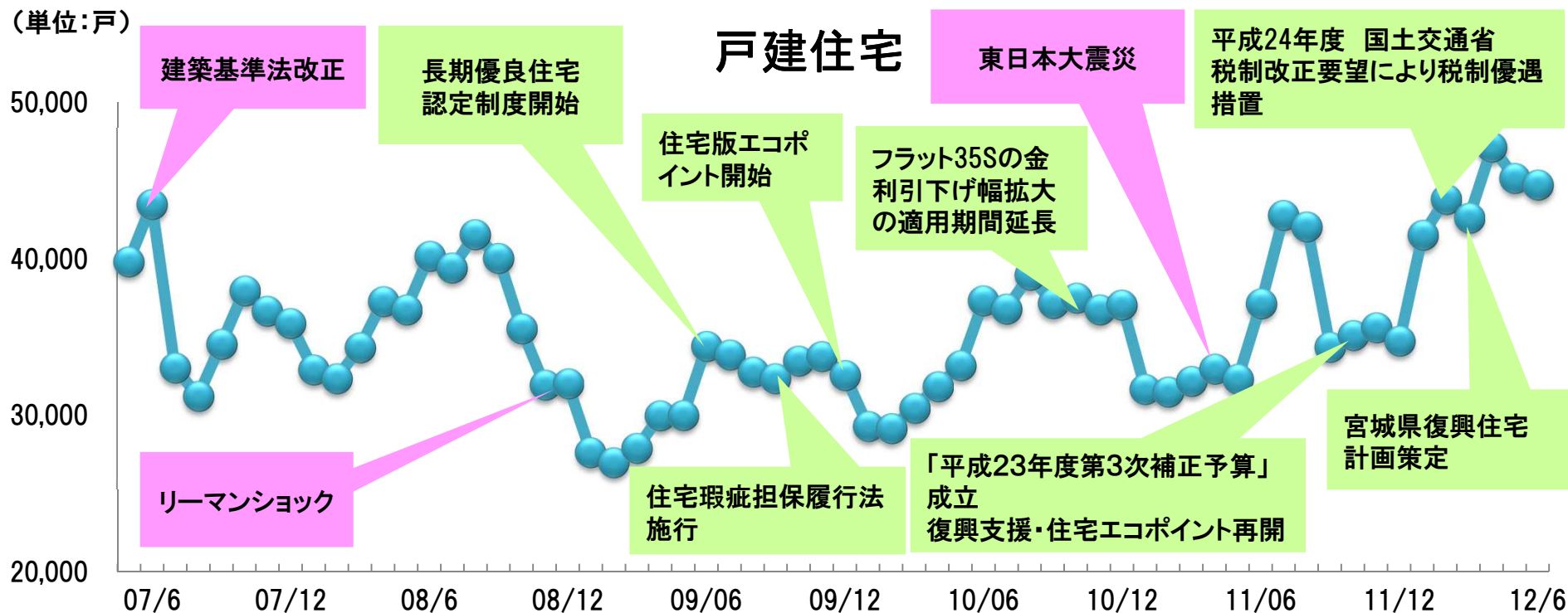
建築士による総合的な住宅サポートサービスです。お住まいの住宅(建物)に関する相談を建築のプロである建築士がお受けいたします。



II. 市場環境

直近の新設住宅着工戸数推移

国土交通省の建築着工統計調査をもとに当社の会計期間に合わせております。

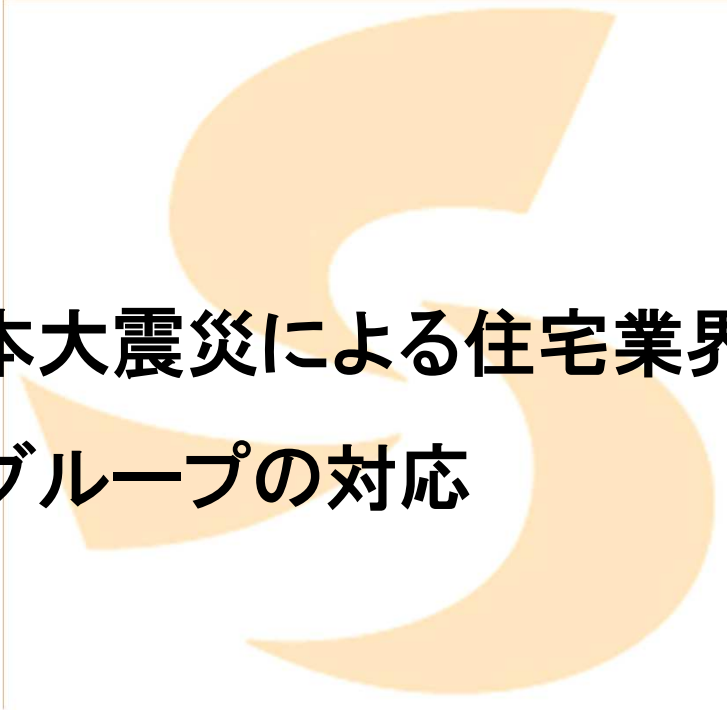


(単位:戸)	08/2Q	09/2Q	10/2Q	11/2Q	12/2Q	前年同期比 (%)
	07/9月 ~08/2月	08/9月~09/2月	09/9月~10/2月	11/1月~11/6月	12/1月~12/6月	
住宅着工戸数	481,337	488,772	387,275	395,550	415,360	5.0
戸建住宅	210,336	194,244	190,704	197,796	201,999	2.1

※戸建住宅とは、住宅着工戸数全体における、持家と分譲(一戸建)の着工戸数の合計

出所: 建築着工統計調査(国土交通省)

- 『長期優良住宅の普及促進に関する法律』の施行
スクラップアンドビルドのフローからストックへ ⇒ 品質重視
- 『住宅瑕疵担保履行法』の施行 ⇒ 法律により、責任所在が明確化
- 住宅版エコポイント制度の対象期間短縮
(5ヶ月間の前倒し(23年12月末日→7月末日))
⇒駆け込み需要により新設住宅が一時的に増加
- 金利優遇措置「フラット35S」の金利引下げ幅拡大の期間延長
⇒1年間の適用期間延長(22年12月30日→23年12月30日)
⇒1%の金利優遇による利用申請が高水準
- 東日本大震災
⇒建築物被害 全壊 129,483戸、半壊255,447戸、一部破損 697,344戸
⇒千葉県浦安市における液状化被害等 37,023世帯
- 「平成23年度第3次補正予算」成立 ⇒復興支援・住宅エコポイント再開
- 平成24年度 国土交通省 税制改正要望 ⇒税制優遇措置の拡充
- 平成24年3月 宮城県復興住宅計画を策定 ⇒平成27年まで約12,000戸の公営住宅を整備
- 平成24年6月の住宅着工戸数は、持家、貸家は増加したが、分譲住宅が減少したため、全体で減少となった。
 - ◆住宅着工戸数 72,566戸 (前年同月比 0.2%減, 5か月ぶりの減少)
 - ◆持家住宅 持家は 26,971戸 (前年同月比 0.1%増, 3か月連続の増加)
 - ◆分譲住宅(一戸建て住宅)は 17,724戸 (前年同月比 7.2%減, 5か月ぶりの減少)



Ⅲ. 東日本大震災による住宅業界の変遷と 当社グループの対応

震災直後の需要

沈下修正工事

- 液状化による宅地の地盤沈下修正ニーズ
→千葉県を中心に関東地方で過去最大規模の2万棟以上の住宅被害

現在及び今後の需要 ～新たなマーケット～

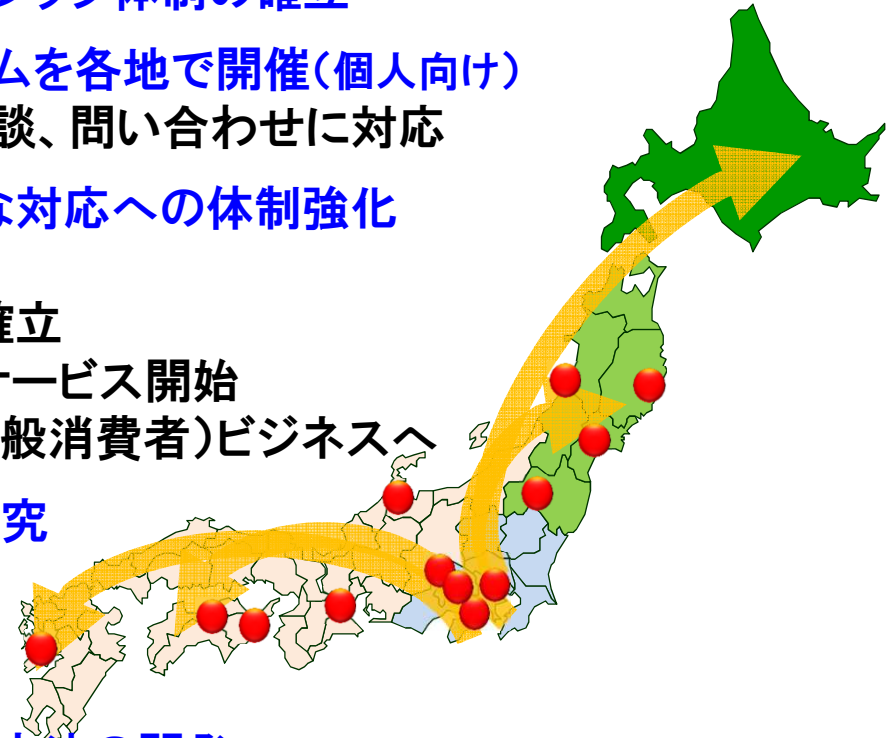
液状化対策

- 今後想定される大規模地震による日本各地の沿岸部の大規模な液状化対策
- 民間宅地(新規・既存)の液状化対策
→地盤に対する意識の向上
- 安全・安心な住宅の供給
→地盤調査・地盤改良の重要性
→国土交通省も不動産売買時に、「安全表示」も検討。


東日本大震災による住宅業界の変遷②

当社グループの対応

- 震災相談窓口の設置(個人向け)
⇒地盤の液状化等の住宅被害に関する相談、問い合わせに対応
- 施工力及び技術力向上のためのパートナーシップ体制の確立
- 地盤に関する勉強会、セミナー、シンポジウムを各地で開催(個人向け)
⇒地盤の液状化等の住宅被害に関する相談、問い合わせに対応
- 液状化対策、沈下修正工事のスピーディーな対応への体制強化
⇒地盤状況に応じた最適な工法の提供
⇒全国をカバーするサービス提供体制の確立
⇒沈下修正サービス「家の傾き119番」のサービス開始
⇒既存のBtoBビジネスから新たにBtoC(一般消費者)ビジネスへ
- 液状化被害による今後の地盤調査方法の研究
⇒産学共同による研究開発の追求
- 地盤調査・改良工事現場見学会実施
- 液状化対策等のニーズに対応した地盤調査方法の開発



東日本大震災を機に住宅市場のニーズが二極化した。



	震災以前のニーズ	震災以後ニーズ
4号建築 (戸建住宅)	●コスト中心で品質より価格重視(ローコスト商品)	●コスト中心で品質より価格重視(ローコスト商品) ●液状化被害が多発したことで、液状化対策(高付加価値)のニーズが高まった
商業施設 (店舗等)	●品質重視	●液状化対策(高付加価値)のニーズが高まった



液状化対策(高付加価値商品)とローコスト商品

当社グループの今後対応

● 液状化対策のニーズ

● 液状化対策に対応した地盤調査機『バイブドリル式ボーリングマシン』を開発

液状化による危険度や被害の定量的な評価や対策工の検討が可能。

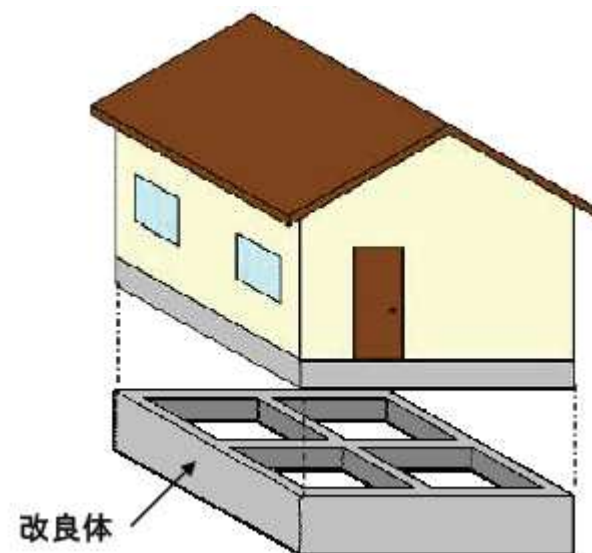
● 液状化対策工法『エコジオ工法』の拡販

国土交通省の平成23年度住宅・建築関連先端技術開発助成事業に液状化対策方法として採択。

● ローコスト地盤改良工事のニーズ

● 『クロスベース工法』を開発

※第三者機関性能評価取得中



固化材料の低減が可能。

当社グループが開発した液状化対策の検討

従来より行われてきたスウェーデン式サウンディング試験では、液状化による危険度や被害の定量的な評価や対策工の評価が不可能であったが、これらの不可能や困難を可能にした。



新開発の『バイブドリル式ボーリングマシン』

土を採ることができる!
今までの地盤調査では不可能だった土質の判別が可能



土質の判別が可能

地下水位をはかることができる!
今までの地盤調査では不明確だった地下水位の測定が可能



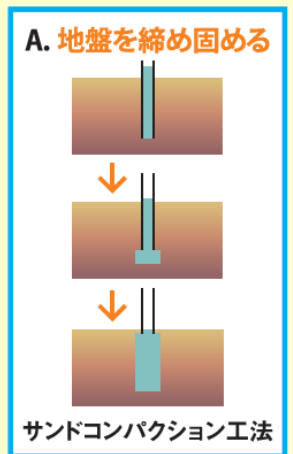
地下水位を把握

土の大きさはかることができる!
細粒分含有試験など物理試験が可能

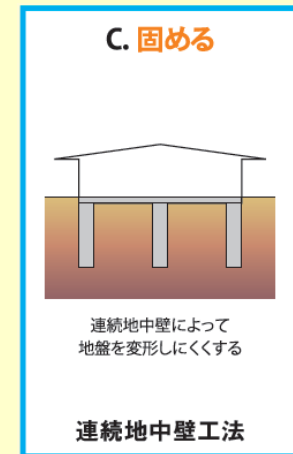
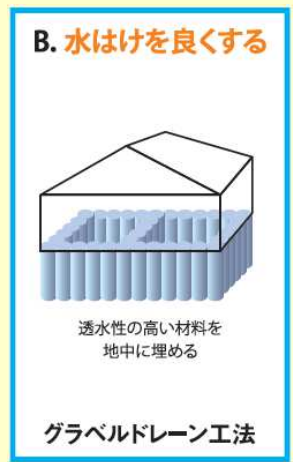


土質試験が可能

液状化対策の具体的な工法例

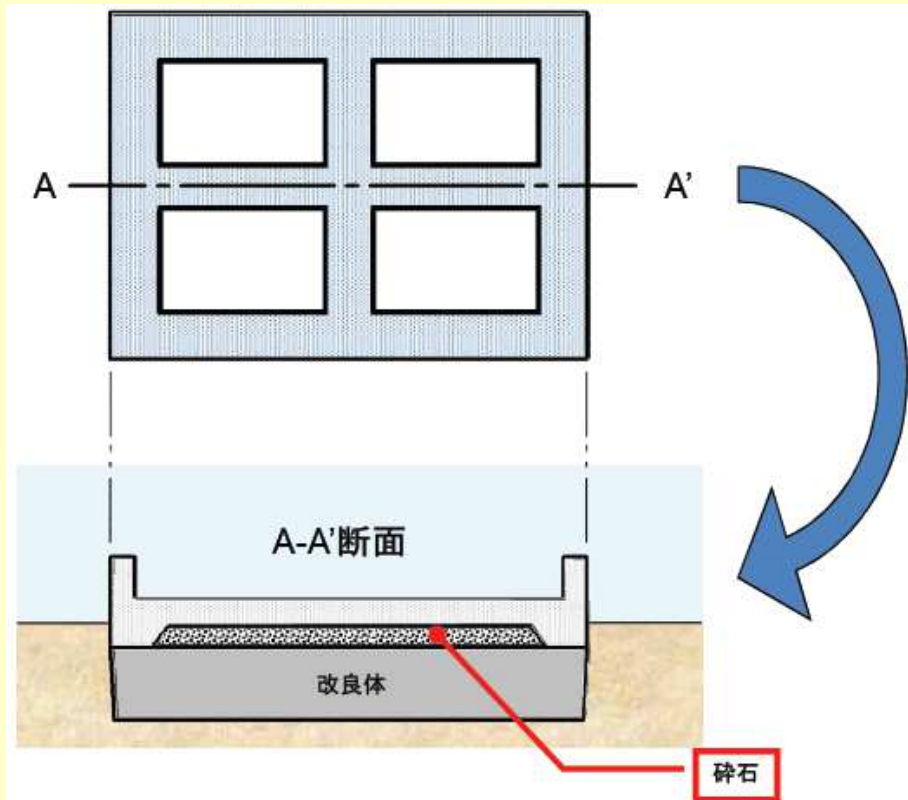


SAVE コンポーザー工法



クロスベース工法

特許第
5039854号
取得



- ・搬入条件の制約が少ない
- ・特殊な機械が不要で、従来の基礎業者にて施工が可能
- ・表層改良工法に比べ、固化材量の低減が可能
→経済性に優れている
- ・明確な支持層がなくても設計可能

当社グループが戸建住宅及び小規模建築物対象に開発した工法

※当社は、2010年12月期より決算日を8月31日から12月31日に変更しております。これに伴い、2010年12月期は9月1日から12月31日までの4ヶ月となっております。

IV. 2012年12月期 第2四半期決算

※注記

2010年1月～6月の期間数値は、当社の集計数値であり監査法人による監査を受けておりませんので予めご了承ください。

2012年12月期 連結業績予想(2Q・通期)の修正

<http://www.sthd.co.jp>

(1)平成24年12月期 第2四半期累計期間(平成24年1月1日～平成24年6月30日)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円)
前回発表予想(A) (平成24年2月14日発表)	4,047	17	2	25	1,616.96
今回発表予想(B)	4,097	53	80	44	2,793.60
増減額(B-A)	50	36	78	19	—
増減率	1.2%	205.7%	—	73.9%	—

連結業績予想数値の修正の理由

■平成24年12月期 第2四半期累計期間(平成24年1月1日～平成24年6月31日)

売上高の若干の上積みに加え、人件費等の経費が当初計画を下回った結果、販売費及び一般管理費が計画の範囲内に収まり、営業利益は前回(平成24年2月14日)に発表した予想を上回る見込みです。また生命保険の契約見直しに伴う解約返戻金による営業外収益の増加で経常利益及び当期純利益も前回予想を上回る見込みです。

■平成24年12月期 通期(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

通期業績予想につきましては、現時点において変更ございません。

業績ハイライト

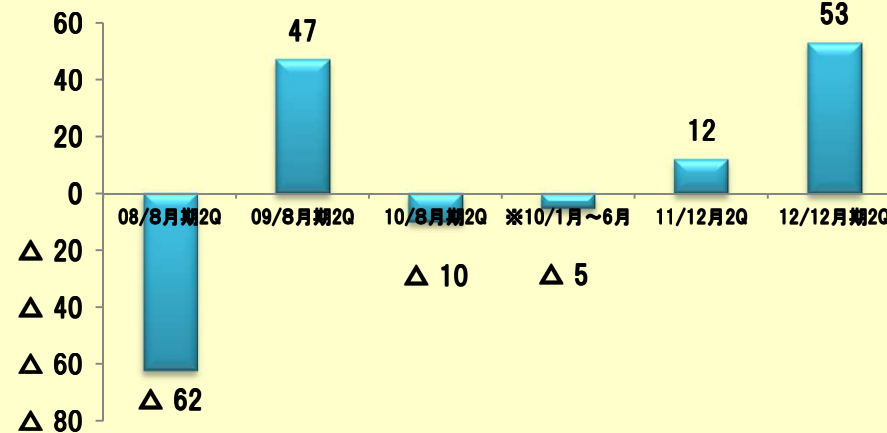
(単位:百万円)

売上高



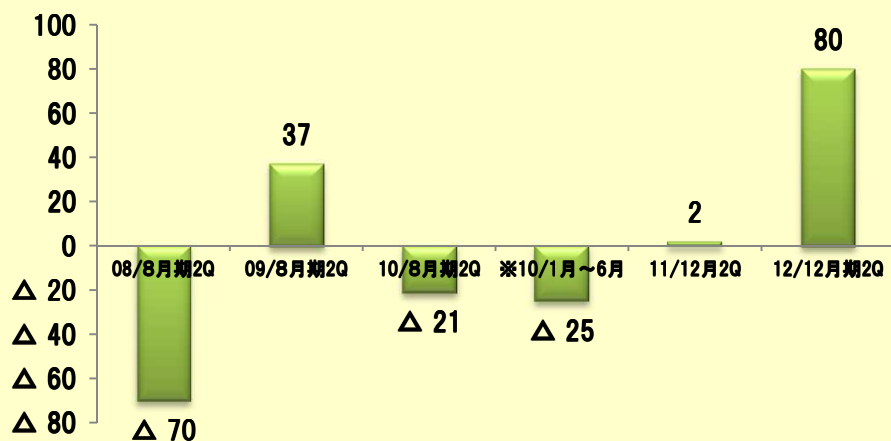
(単位:百万円)

営業利益



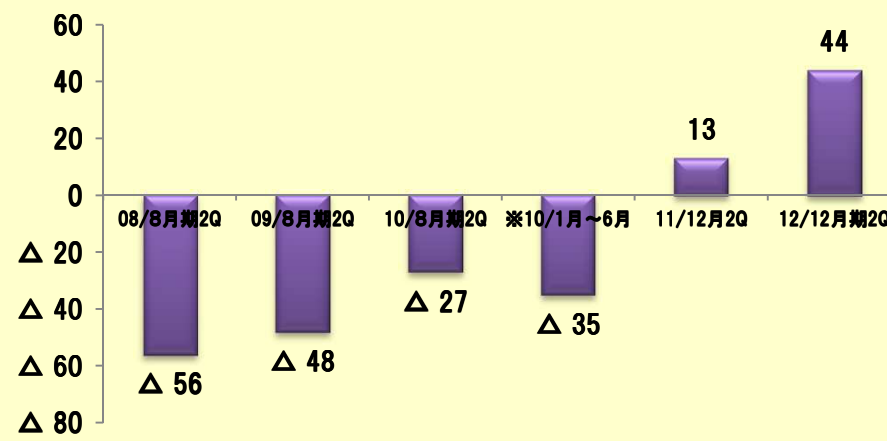
(単位:百万円)

経常利益



(単位:百万円)

四半期純利益



※注記

2010年1月～6月の期間数値及び対前年同期増減率は、当社の集計数値であり監査法人による監査を受けておりませんので予めご了承ください。

Copyright©2012 Something Holdings Co.,Ltd. All rights reserved.

財務・キャッシュフローの状況

財務状況

2012年6月30日現在 (単位:百万円)

資産 4,054	負債 3,074
	純資産 979

キャッシュ・フロー

2012年6月30日現在 (単位:百万円)

営業CF	127
投資CF	△48
財務CF	8
現金同等物残高	918

(単位:百万円)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
減価償却費	85
貸倒引当金の増減額(△減少額)	△ 4
賞与引当金増減額(△減少額)	59
支払利息	14
売上債権増減額(△増加額)	49
保険解約損益(△は益)	△ 31
利息の支払額	△ 14
法人税等の支払額	△ 73

(単位:百万円)

投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△ 48
投資有価証券の取得による支出	△ 30
関係会社に対する貸付けによる支出	△ 3
関係会社に対する貸付けの返済による収入	20
保険積立金の解約による収入	31

(単位:百万円)

財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	275
短期借入金の返済による支出	△ 354
長期借入れによる収入	400
長期借入金の返済による支出	△ 204
社債の償還による支出	△ 66
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△ 35

(単位:千円)	10/8月期 2Q	11/12月期 2Q (2011年1月~6月)	12/12月期 2Q (2012年1月~6月)	前年同期比 (%)
流動資産	1,835,843	2,496,907	3,312,342	+32.7
固定資産	487,261	569,681	742,440	+30.3
資産合計	2,323,105	3,066,588	4,054,782	+20.9
流動負債	1,261,118	1,735,305	2,272,850	+133.7
固定負債	336,349	540,449	802,130	+48.4
負債合計	1,597,468	2,275,754	3,074,981	+35.1
純資産合計	725,636	790,833	979,801	+23.9

セグメント別:売上高

セグメント	10/2Q累計		※10/8期 (2010年1月~6月)		11/2Q累計 (2011年1月~6月)		12/2Q累計 (2012年1月~6月)		前年 同期比 (%)
	金額 (百万円)	構成 比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
地盤改良 事業	2,441	95.4	2,566	95.4	2,752	94.7	3,944	97.0	+43.3
保証事業	48	1.9	55	2.0	64	2.2	83	2.0	+29.6
地盤システ ム事業	-	-	-	-	33	1.1	42	1.0	+28.4
その他の 事業	69	2.7	67	2.5	55	1.9	26	0.6	△52.4
合計	2,559	100	2,689	100	2,906	100	4,097	100	+41.0

(単位:百万円)	10/2Q累計	※10/8期 (2010年1月~6月)	11/2Q累計 (2011年1月~6月)	12/2Q累計 (2012年1月~6月)	前年 同期比 (%)
地盤改良工事	1,977	2,094	2,184	3,293	+50.7
調査・測量	423	431	494	621	+25.7
その他	40	40	73	28	△60.5
合計	2,441	2,566	2,752	3,944	+43.3

独自工法等の販売増加(前年同期+78.5%)

(単位:百万円)	11/2Q累計 (2011年1月~6月)	12/2Q累計 (2012年1月~6月)	前年 同期比 (%)
DM工法	149	267	+78.5

震災の影響による沈下修正工事の増加

(件数)	11/2Q (2011年1月~6月)	12/2Q (2012年1月~6月)	前年 同期比 (%)
地盤改良工事	3,329	5,044	+51.5
調査・測量	9,635	11,148	+15.7

(件数)	10/2Q	※10/8期 (2010年1月~6月)	11/2Q (2011年1月~6月)	12/2Q (2012年1月~6月)	前年 同期比 (%)
THE LAND件数	4,136	4,394	4,584	6,094	+32.9
認定店経由	2,018	1,622	1,851	2,547	+37.6
サムシング経由	2,118	2,772	2,733	3,547	+29.8
認定店比率	48.7%	36.9%	40.4%	41.8%	+3.5
認定店数	65	67	76	90	+18.4

認定店とは……

- 当社子会社GIRの地盤専門講習を受講した地盤関連会社(調査・改良会社)
- フルオートのSS調査機での利用義務及び指定の施工管理装置を利用

※注記

2010年1月~6月の期間数値及び対前年同期増減率は、当社の集計数値であり監査法人による監査を受けておりませんので予めご了承ください。

■23年3月

- 液状化対策に対応した地盤調査方法の開発(バイブドリル式ボーリング)

■23年7月

- 当社子会社(株)サムシングは、固化材量の低減を可能にし、経済性に優れた『クロスベース工法』を開発
- 当社子会社(株)サムシングが開発した『クロスベース工法』の特許を取得
- 当社子会社(株)サムシング、ジオサイン(株)が共開発した『バイブドリル式ボーリング』の特許を取得



Publicity

【新聞】

掲載日:1月15日
会社名:サムシングホールディングス
新聞名:日本経済新聞
内 容:時価総額・売買代金・値上がり率ランキング
3位に掲載されました。

掲載日:7月17日
会社名:サムシング
媒体名:産経新聞
内 容:戸建住宅向け液状化対策に関する新商品が掲
載されました。

掲載日:7月30日
会社名:サムシング
媒体名:日経産業新聞
内 容:戸建て地盤調査一被災予防需要に照準(注
目戦略この一手)に掲載されました。

【雑誌・Web】

掲載日:3月
会社名:サムシング
媒体名:(株)リクルート不動産・住宅サイトSUUM
(Web版)
内 容:一戸建て・土地の基礎知識の耐震についての
基礎知識に取材協力いたしました。

掲載日:3月
会社名:サムシング
媒体名:(株)リクルート『注文住宅』
内 容:2012年春夏号の耐震の基礎知識Q&A13)に
当社が取材協力いたしました。

掲載日:6月16日
会社名:サムシング
媒体名:(株)建築技術
内 容:『建築技術』特別記事に当社子会社(株)サム
シングが新開発した液状化判定に関する記事
が掲載されました。

掲載日:6月20日
会社名:サムシング、GIR
媒体名:日経ホームビルダー
内 容:『日経ホームビルダー7月号』に当社子会社
(株)サムシング、(株)GIRの新商品が掲載され
ました。

掲載日:7月9日
会社名:サムシング
媒体名:週刊ダイヤモンド
内 容:『週刊ダイヤモンド7/14特大号』に当社子会社
(株)サムシングの新開発、液状化対策に関す
る記事が掲載されました。



V. 2012年～2014年 中期経営計画

■中期ビジョン

サムシンググループは、地盤改良事業を中心とした
『住宅価値創造事業グループ』
を目指します

- 労働集約型から知識集約型へ
- 既存事業のドメイン拡大
(住宅業界における付加価値サービスを創造)
- グループのシナジーによる企業成長

■中期テーマ

『グローバル企業への成長』

地域密着でお客様の要望に、お応えし、最先端の
技術開発、グローバルな海外進出にて、グローバ
ルとローカルを併せ持つ企業へ成長します。

＜地盤改良事業＞

- 顧客ニーズに合わせたローコスト地盤改良工事の販売拡大
- 液状化対策の営業活動を強化
- 非住宅建築物(小型商業用店舗、介護施設等)の成長市場への営業活動の強化
- 独自開発及び共同開発工法の販売拡大

＜保証事業＞

- 販売網の強化
 - ⇒他社とのアライアンスを視野に入れた柔軟な販売戦略の推進
- 認定店ネットワークの拡大

＜その他事業＞

- (株)ユナイテッド・インスペクターズの住宅検査受託業務の売上拡大
 - ⇒住宅瑕疵担保責任保険の現場検査シェアアップ
- ジオサイン(株)の電子認証サービスの販売拡大

2012年～2014年度 中期経営計画



<http://www.sthd.co.jp>

(単位:千円)	12/12月期 (計画)	13/12月期 (計画)	14/12月期 (計画)
売上	9,100,000	10,500,000	12,000,000
(地盤改良事業)	8,753,500	10,130,000	11,585,000
(保証事業)	128,000	130,000	135,000
(その他の事業)	218,500	240,000	280,000
売上原価	6,691,000	7,700,000	8,760,000
(地盤改良事業)	6,439,000	7,437,000	8,470,000
(保証事業)	68,000	71,000	74,000
(その他の事業)	184,000	192,000	216,000
売上総利益	2,409,000	2,800,000	3,240,000
(地盤改良事業)	2,314,500	2,693,000	3,115,000
(保証事業)	56,500	59,000	61,000
(その他の事業)	38,000	48,000	64,000
販管費	2,109,000	2,400,000	2,700,000
営業利益	300,000	400,000	540,000
営業外収益	5,000	5,000	5,000
営業外費用	40,000	45,000	45,000
経常利益	265,000	360,000	500,000
当期純利益	211,300	210,000	293,500

	12/12月期末	13/12月期末	14/12月期末
人員計画	330名	360名	390名

ご清聴ありがとうございました。

IR担当窓口

<http://www.sthd.co.jp>

サムシングホールディングス株式会社

部署：管理本部

氏名：笠原 篤

TEL：03-5566-5555

Mail：ir@sthd.co.jp